

### みんなで「火の用心」

長崎県 佐世保市消防局

佐世保市消防局では、秋季火災予防運動の一環として、平成15年11月20日(木)に佐世保市体育文化館において、市内の保育園や幼稚園31クラブ、1,600名の幼年消防クラブ員及びその指導者、保護者、来賓並びに消防職員など400名、合わせて2,000名が一堂に会し「第12回母と子の防火フェスティバル」を開催しました。

この大会は、感受性の強い幼児期に、楽しみながら火に対する正しい知識を身につけてもらうと共に、各クラブの相互の交流を深めてもらうことを目的として2年に1度開催しているもので、今回で12回目を数える恒例のイベントです。



式典では、各クラブ様々な「まとい」を先頭にクラブ員みんなお揃いのほっぴ姿で入場した後、「絶対に火あそびをしない、よい子になります!」と、みんなで元気良く「防火の合い言葉」を誓い合いました。

式典後のアトラクションでは、消防職員のぬいぐるみ劇で火の怖さを訴え、引き続きクイズでは、火事や救急の場面を想定したクイズに消防車のサイレン音か救急車のサイレン音のどちらかで答えるものとして、消防隊や救急隊の活動をクラブ員に認識させました。

消防音楽隊によるクラシック曲及び童謡等の演奏後、クラブ員1,600名みんなで「火の用心踊り」を元気に踊り、盛会のうちに終了しました。

[▲ このページの上に戻る](#)

### 第16回婦人防火の集いを開催

兵庫県 加東行政事務組合消防本部

加東郡少年婦人防火委員会では、平成15年12月3日加東行政事務組合消防本部訓練場で、「婦人防火の集い（消防競技大会）」を開催しました。例年防災講演会をメインに開催しておりましたが、今年度からより実践的な競技大会方式へと変更しました。



内容は、開会式のあと午前中はバケツリレー、スプレー式消火具を使用したてんぷら火災消火競技、消火器競技で各チームが消火技術を競いました。昼の休憩時には、みんなでお弁当を食べながら和やかに過ごしたあと、希望者には起震車による地震体験を行い震度7のゆれにあらためて地震の怖さを感じとっていました。

午後の部は、消火栓競技でチームワークと正確さを競いあい、防災クイズでは難問珍問に挑戦して防災知識の向上に役立てていただきました。

閉会式では、各競技の優勝・準優勝者への表彰のあと、参加者全員で「安全宣言」を読み上げて防災への誓いをあらたにしました。



[▲ このページの上に戻る](#)

火あそび防止をピーアール！！

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、秋の全国火災予防運動初日の11月9日（土）に市内小学校で実施された子供会行事に参加し、消防コーナーを設け、火あそびが原因となった火災現場の写真等をパネル化して、火あそび防止の広報を実施しました。



これは、水消火器による風船割り等や消防車の展示と合わせて実施したもので、参加した地域住民は、楽しみながらパネル展示の部分では親子共々、火の怖さを実感してもらったため行ったものですが、パネルの前では、しばらく立ち止まり、自分の子供に親が自ら火事の恐ろしさを説明するなど火あそび防止に効果がある催しとなりました。

▲ [このページの上に戻る](#)

## 沼津市幼年消防クラブ結成20周年記念防火パレード

静岡県 沼津市消防本部

沼津市幼年消防クラブは、昭和58年5月に結成され、現在は市内30ヶ園の幼稚園、保育園が加入し、クラブ員は「火あそびはしません」の合言葉のもと、火災や地震の時の身の守り方などを学んでいます。



本年は結成20周年を迎え、中央において記念のセレモニー並びに防火パレードを実施しました。

セレモニーでは「誓いのことば」や「幼年消防クラブの歌」を熱唱し、おゆうぎを元気に楽しく行いました。

また、各園の地域において

も、「火の用心、チャキチャキ」と火災予防を呼びかける防火パレードを実施しました。



▲ [このページの上に戻る](#)

---

## サルの親子、防火呼びかけ

福井県 丸岡町消防本部



今年の干支である申の親子が防火を呼びかける巨大看板（縦5.4メートル、横3.6メートル）が、丸岡町石城戸町の国神神社の境内にお目見えしました。丸岡町消防本部の職員が作成した年末恒例のPR作戦で、来年1月15日まで掲示されます。

今年のデザインは、子供を抱きかかえたニホンザルとなっており、「さるが一筆啓上火の用心申し上げます」とのメッセージは、「申」と「申し」をかけたものです。署員数名が10日かかりで、ベニヤ板にペンキで描いたものです。

丸岡町消防本部では「絵に描かれたサルのように、穏やかな表情で新年を迎えられるように気を付けて」と呼びかけています。

---

[▲ このページの上に戻る](#)

## 防災研修会の開催

埼玉県 越谷市消防本部

埼玉県幼少年婦人防火委員会では、11月5日（水）13時から越谷市コミュニティセンターにおいて、財団法人日本防火協会、埼玉県、越谷市消防本部のほか関係団体との共催のもとに295名が参加して防災研修会を開催しました。

諏訪東京理科大学システム工学部の須川修身教授を講師に迎え、壁や天井との位置関係によって、炎の長さや変化するという火災時の炎の特性や、火災に伴う熱や煙の発生とそれを知覚するセンサーの仕組みに関



し御講演いただきました。



そのほか、社団法人埼玉建築士事務所協会の豊田昇常務理事からは、近年の地震災害による建物倒壊による被害や、耐震診断や耐震改修の必要性、重要性について御講演いただきました。

また、会場に住宅用火災警報機をはじめとした防火・防災機器の展示や耐震診断、防火診断の相談コーナーを設けることにより、住宅防火や住宅耐震補強などの日ごろの備えの重要性について理解を深めていただきました。

[▲このページの上に戻る](#)

## 防火の願いを込めて消防少年団員が「防災祈願もちつき」を実施

東京都 荏原消防署

消防少年団では、小・中学校の終業式を終えたばかりの12月25日（水）11時30分より荏原消防署において、荏原消防少年団員ら117名が自分たちの住む街が、火事や災害のない明るい正月を迎えてもらおうと、火災予防等を呼びかける防災祈願もちつき大会を行いました。



この催しは、荏原消防署の協力で行われている恒例行事で、来るべき新年に、防火防災の輪をつなげていこうとの願いから、多くの防災関係者らを招いて行われるものです。

団員達のついたおもちは、全部で60kg。つきあがったもちは、その場であんこやきなこ、大根おろしなどをまぶして試食され、試食を終えた少年団員達は、消防署の近所の方々や町会などに「このもち食べて火の用心！」と火災予防を呼びかけながらふるまっていました。



[▲このページの上に戻る](#)

荏原消防署では、秋の火災予防運動（11月9日から15日まで）の一環として、11月8日（土）15時30分より、買い物客でにぎわう戸越銀座通りで、火災予防を呼びかける「防火パレード」を開催しました。

荏原消防少年団や東京消防庁音楽隊ら253名のパレード隊が音楽隊の行進曲にのって通ると、商店街の人たちも仕事の手を休めて観覧していました。

特にリードを持つ人間にぴったりと寄り添って行進



する救助犬は、かわいらしさの中にも頼もしさが感じられ、人気を集めていました。

[▲ このページの上に戻る](#)

## 目次

- [1.新春のご挨拶](#)
- [2.消防防災分野における現下の諸問題への対応策に関する答申](#)
- [3.新春恒例の出初式](#)
- [4.婦人防火連絡協議会幹部地域研修会の実施](#)
- [5.婦人防火クラブ員普通救命講習会及び上級救命講習会の実施](#)
- 6.地方からの便り
- [7.あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [8.日本防火協会からのお知らせ](#)